

Owner's Manual

VOLTIKUS



目次

1.	お取り扱い上の注意	2
2.	イントロダクション	3
3.	特徴	3
4.	内容物	4
5.	クイックスタート	4
6.	フロントパネル	5
7.	ヒューズの交換	6
8.	内容物	7
9.	製品仕様	7

1. お取り扱い上の注意

感電や火災、その他危険を防ぐため、以下の注意事項にご留意ください。

- 本体のネジを外さないようにしてください。内部には紛失すると補填できないパーツが含まれています。<u>さらに一度でも中を開けてしまうと、保守サービスを受けることができなくなります</u>。ご注意ください。
- 本体を、雨や湿気にさらさないよう注意してください。また、本体に液体などをこぼさないよう注意しましょう。
- ずバイスの内部に、何らかの形で液体や固形物が入ってしまった場合は、直ちに使用を中止してください。さらにデバイスのスイッチを切り、電源プラグもコンセントから抜いておきましょう。デバイス内部の固形物を取り除くか、液体が完全に乾いた状態となるなど、残留物を完全に取り除いた状態になるまで、使用は控えるようにしてください。半断に迷う場合は、弊社サポートまでお問い合わせください。
- 濡れた手で電源ケーブルを扱わないよう注意しましょう。
- 電源コードをコンセントから抜き差しする際、デバイスのスイッチが切ってあることを確認してからにしましょう。
- 電源コードをコンセントから抜く際は、ケーブルではなく、プラグ部分を持って抜くようにしましょう。
- キャビネットの上にモノを置かないようにしましょう。また、空気の循環の悪い場所狭い場所や壁に 囲まれた場所にデバイスを設置しないようにしましょう。デバイス自体の動作、あるいはデバイスに 隣接する機器の動作に悪影響を及ぼすことがあります。
- 動作に異変が感じられる場合は、電源を切って直ちに使用を中止し、電源コードも抜いておきましょう。その上で弊社サポートまでご連絡ください。
- ラジエーターや放熱器、ストーブやその他熱を発生する機器(アンプ等も含む)の近くに、本機を設置しないようにしましょう。
- 強い薬剤を使って、本体を拭かないようにしましょう。クリーニングは乾いた布を使って行います。
- 他のデバイスと接続する場合は、電源を入れる前に行います。

2. VOLTIKUS のパワーがサウンドを変える

Voltikus は Zodiac DAC にマッチするよう設計された、スタイリッシュで耐久性に優れた電源ユニット (PSU)です。電源供給に徹底的にこだわり入念に仕上げた Voltikus とのコンビネーションが Zodiac の再現力をバックアップ。ダイナミックながら深みのある低音域、幅広い中音域、極めて明瞭な高音域を実現します。また、重厚感のあるデザイン、カスタム対応で、静電シールドを施したトロイダルトランスを組み込むことで高度なパフォーマンスを達成。さらに独自のコンセプトにより3つ直列に接続された電源レギュレータを採用しています。Voltikus 特有のデザインは、レーザトリミング加工された精密リファレンス(LT1021)がベース。市販の電圧レギュレータでは不可能な安定性を実現しています。Voltikus はAntelope が誇るハイエンドな音響専門家チームが生み出した、本物の技術革新なのです。

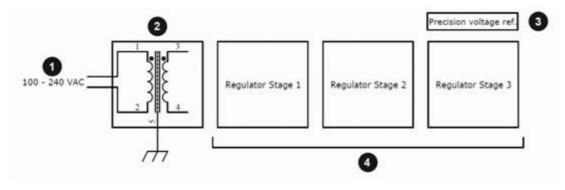
新しい Voltikus で音楽が生まれ変わる!

Antelope 社開発チーム

3. 特長

- 外観美・性能ともに Zodiac DAC に完璧にマッチするオーディオ愛好家向け PSU
- 究極の安定性を実現する独自の多段式線形レギュレータ・トポロジー
- 電源ラインの障害を抑える特注の静電シールドを施したトロイダルトランス
- 接地ループに起因するハム・ノイズ/バズ・ノイズ除去に役立つ Ground/Lift スイッチ
- 多様な回線状態において信頼性の高い操作を確保する広入力電圧範囲(90-250V)
- ノイズの多い市販の電圧レギュレータを不要にする最先端の独創的デザイン
- カスタム加工のアルミニウム・フロントパネルが付いた耐久性のあるロバスト構造

_



精密リファレンス

[1] レギュレータ・ステージ [2] レギュレータ・ステージ

[3] レギュレータ・ステージ

- 1. 入力電圧-100-240VAC
- 2. 静電シールド付きカスタムデザイン変圧器
- 3. 超低ドリフト・超低ノイズの精密リファレンス
- 4.3 ステージ・レギュレーション

4. クイックスタート

Voltikus PSU はシンプルかつ簡単なセッティングで極上のサウンドをお楽しみいただけます。以下の手順に沿って Voltikus をお手持ちの Zodiac DAC に接続しましょう。

- 1. 付属の IEC 電源ケーブルをユニットのリアパネルの AC 入力ソケット(4)に接続し、プラグを AC 電源 コンセントに差し込みます。
- 2. DC 電源ケーブルで、リアパネルの 18 VDC 出力ソケット(6)と Zodiac DAC ユニットの 18 VDC 入力ソケットをつなぎます。
- 3. リアパネルの電源スイッチ(3)を押して電源を入れます。Voltikus のフロントパネルの電源ライト(1)が 点灯して電源が ON になったことを示します。
- 4. Ground/Lift スイッチ(5)では、Lift 側に切り替えて Voltikus PSU を「floating(浮かせた)」状態にするか、接地状態を保つかを選ぶことができます。

詳細はサポートページ: http://www.antelopeaudio.com/jp をご覧ください。

5. フロントパネルの説明



[1] 電源ライト

点灯している場合、Voltikus の電源が ON になっていることを示します。

6. リアパネルの説明



[2] ヒューズ部分

2 本のヒューズを使用します: 0.8A, 250VAC, 5mm x 20mm, F タイプ

[3] 電源スイッチ

電源の ON/OFF を切り替えます。

[4] IEC AC 入力 C14 Male コネクタ

付属の AC 電源ケーブル用です。

[5] Ground/Lift スイッチ

Ground 状態と Lift 状態を切り替えます。

[6] 18 VDC 出力

付属の Antelope DC 電源ケーブル専用です。

7. ヒューズの交換

Voltikus が正常に機能している電源コンセントに接続されており、電源スイッチが ON になっているのに、電源ライトが点灯しない場合、ヒューズを交換する必要があります。

- 1. 電源コードをコンセントから抜きます。
- 2. ヒューズホルダー [7] の下端のノッチ(凹み部分) [8] にマイナスドライバーを差し込み、ホルダーを外します。
- 3. ヒューズホルダーからヒューズを取り外して交換します。0.8A, 250VAC, 5mm x 20mm, Fタイプを使用してください。
- 4. 再びヒューズホルダーをリアパネルの所定の位置に差し込みます。ヒューズホルダーをそっと押してカチっと音がするまではめ込んでください。





8. 内容物

オーディオマニア向け超低ノイズ電源

取扱説明書

DC 電源ケーブル

IES 電源コード

9. 製品仕様

TECHNICAL SPECIFICATIONS

入力電源

公称電圧 100-120/220-240 VAC,50/60 Hz

実電圧 90-264 VAC, 50/60 Hz

ヒューズ 0.8A, 250 VAC, 5mm x 20mm, F 型

入力電源コード 3 線型 Ground/Lift 選択式

ターミナル C14 オス入力(パネルマウント)

出力

電圧 18VDC 電力(最大) 18W

端子 ミニ XLR

安全機能

過負荷/短絡保護 自動電力制限/短絡保護

入力ライン保護 ニュートラル(接地側極)/ホット(非接地側極)用ヒューズ

使用環境

稼働温度 0-50°C

サイズ&重さ

高さ: 4.4", 111.5 mm 幅: 4.2", 106.5 mm

奥行き: 6.6", 168.0 mm

重さ: 4.4 lb, 2.0 kg



Correct Disposal of This Product (Waste Electrical & Electronic Equipment)

(Applicable in the European Union and other European countries with separate collection systems)

This marking shown on the product or its literature, indicates that it should not be disposed with other household wastes at the end of its working life. To prevent possible harm to the environment or human health from uncontrolled waste disposal, please separate this from other types of wastes and recycle it responsibly to promote the sustainable reuse of material resources.

Household users should contact either the retailer where they purchased this product, or their local government office, for details of where and how they can take this item for environmentally safe recycling.

Business users should contact their supplier and check the terms and conditions of the purchase contact. This product should not be mixed with other commercial wastes for disposal.